

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 23 年 4 月 21 日 (2011.4.21)

【公開番号】特開 2010-109953 (P2010-109953A)
 【公開日】平成 22 年 5 月 13 日 (2010.5.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2010-019
 【出願番号】特願 2008-282593 (P2008-282593)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 36/08 (2009.01)

H 0 4 W 60/02 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 3 0 6

H 0 4 Q 7/00 4 8 1

【手続補正書】
 【提出日】平成 23 年 3 月 4 日 (2011.3.4)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

受信したハンドオーバーコマンドに応じて第 1 セルから第 2 セルにハンドオーバーした際に、該第 2 セルにおける報知情報に含まれる主要情報ブロックを受信し、該主要情報ブロックに含まれる情報に基づいて該報知情報に含まれる第 1 システム情報ブロックを受信するように構成されている報知情報受信部と、

前記報知情報受信部によって前記第 1 システム情報ブロックを受信した場合に、前記第 2 セルにおいて、前記主要情報ブロックと前記第 1 システム情報ブロックと前記ハンドオーバーコマンドとに含まれている情報を用いた第 1 通信を行い、該報知情報受信部によって該第 1 システム情報ブロックを受信していない場合に、該第 2 セルにおいて、該ハンドオーバーコマンドに含まれている情報を用いた第 2 通信を行うように構成されている通信部とを具備し、

前記通信部は、前記第 1 通信を行っている場合、前記第 1 システム情報ブロックに含まれている情報に基づいて、位置登録処理を行うように構成されており、前記第 2 通信を行っている場合、位置登録処理を行わないように構成されていることを特徴とする移動局。

【請求項 2】

前記通信部は、前記第 1 通信を行っている場合、前記第 1 システム情報ブロックに含まれている情報に基づいて、前記移動局宛てのページング信号を受信するように構成されており、前記第 2 通信を行っている場合、該移動局宛てのページング信号を受信しないように構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の移動局。

【請求項 3】

前記通信部は、前記第 1 通信を行っている場合、前記第 1 システム情報ブロックに含まれている情報に基づいて、所定サブフレームを、M B S F N 送信方式が適用されているサブフレームと見なすように構成されており、前記第 2 通信を行っている場合、所定サブフレームを、M B S F N 送信方式が適用されていないサブフレームと見なすように構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の移動局。

【請求項 4】

移動局が、受信したハンドオーバーコマンドに応じて第 1 セルから第 2 セルにハンドオー

バした際に、該第 2 セルにおける報知情報に含まれる主要情報ブロックを受信し、該主要情報ブロックに含まれる情報に基づいて該報知情報に含まれる第 1 システム情報ブロックを受信する工程 A と、

前記移動局が、前記第 1 システム情報ブロックを受信した場合に、前記第 2 セルにおいて、前記主要情報ブロックと前記第 1 システム情報ブロックと前記ハンドオーバーコマンドとに含まれている情報を用いた第 1 通信を行う工程 B と、

前記移動局が、前記第 1 システム情報ブロックを受信していない場合に、前記第 2 セルにおいて、前記ハンドオーバーコマンドに含まれている情報を用いた第 2 通信を行う工程 C とを有し、

前記工程 B において、前記移動局は、前記第 1 通信を行っている場合、前記第 1 システム情報ブロックに含まれている情報に基づいて、位置登録処理を行い、

前記工程 C において、前記移動局は、前記第 2 通信を行っている場合、位置登録処理を行わないことを特徴とする移動通信方法。

【請求項 5】

前記工程 B において、前記移動局は、前記第 1 通信を行っている場合、前記第 1 システム情報ブロックに含まれている情報に基づいて、前記移動局宛てのページング信号を受信し、

前記工程 C において、前記移動局は、前記第 2 通信を行っている場合、該移動局宛てのページング信号を受信しないことを特徴とする請求項 4 に記載の移動通信方法。

【請求項 6】

前記工程 B において、前記移動局は、前記第 1 通信を行っている場合、前記第 1 システム情報ブロックに含まれている情報に基づいて、所定サブフレームを、MBSFN 送信方式が適用されているサブフレームと見なし、

前記工程 C において、前記移動局は、前記第 2 通信を行っている場合、所定サブフレームを、MBSFN 送信方式が適用されていないサブフレームと見なすことを特徴とする請求項 4 に記載の移動通信方法。